

和歌山県医務課

和歌山県こども救急相談ダイヤル #8000

令和6年度実績

■事業概要

夜間・休日にこどもが急病になったとき、すぐに病院に行った方がいいのか、それとも様子を見て大丈夫か、看護師（必要に応じて医師）が相談に応じます。

■相談時間

- 平日…19時～翌朝9時
- 土日祝・年末年始（12/29～1/3）…9時～翌朝9時

■電話番号

- #8000（プッシュ回線・携帯電話）
- 073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）

■補足

このダイヤルは、あくまで保護者の方々に助言を行うものであり、診断・治療や医療機関の紹介を行うものではありません。

医療機関の紹介は、「和歌山県救急医療情報センター」で行っています。

《和歌山県救急医療情報センター》

受診可能な医療機関を24時間体制で案内しています。

TEL:073-426-1199（いい救急）

1 相談件数

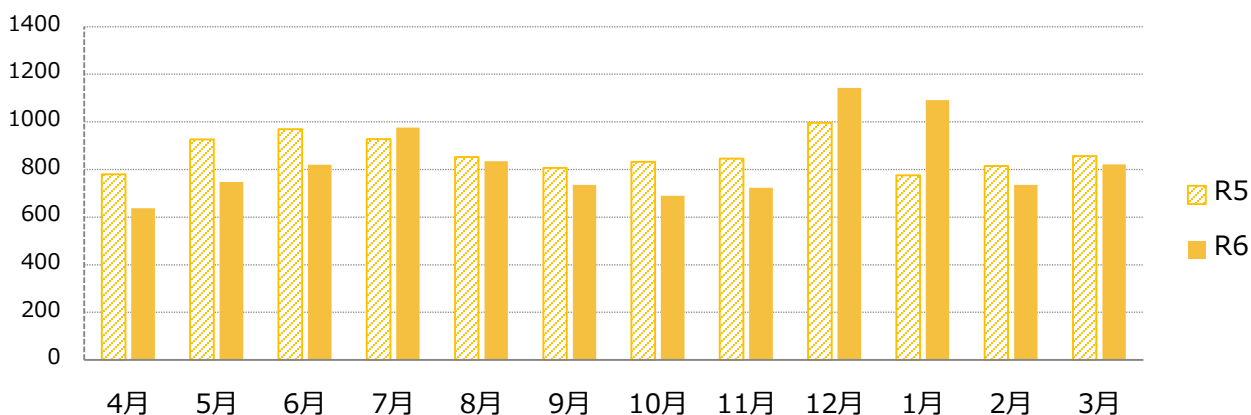
令和6年度は、累計9,960件の相談がありました。

月別では、12月が最も多く、次いで1月、7月の順で相談が多くなっています。

また、例年相談の多い冬期においては特に利用件数の増加が見られました。

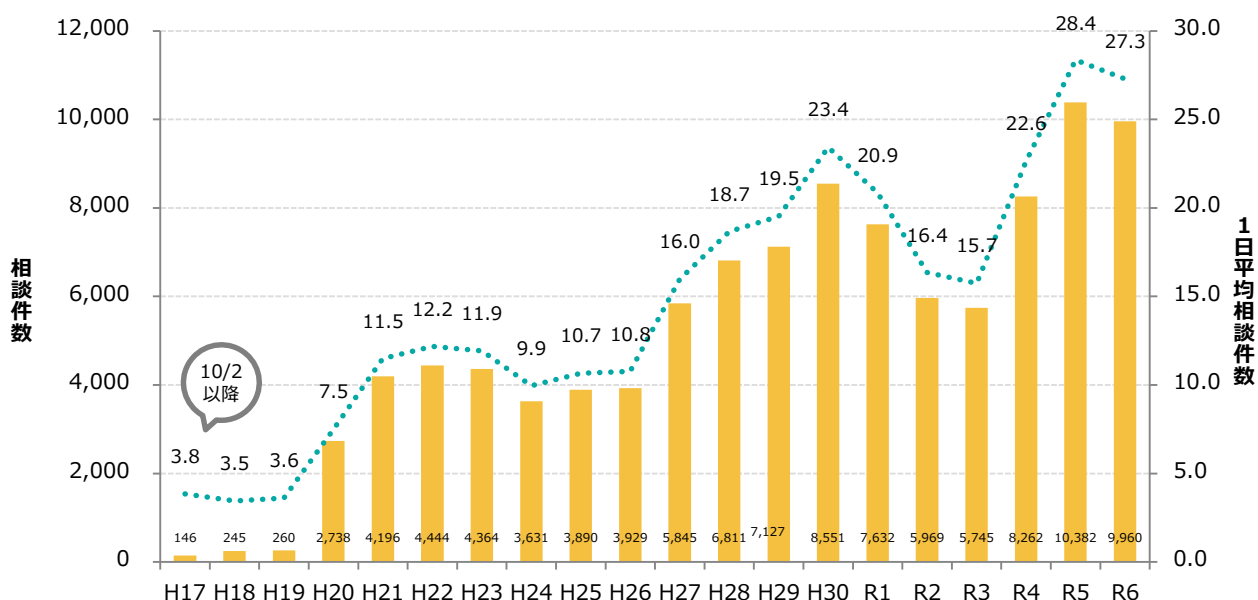
令和6年度累計

9,960件



2 相談件数の推移

令和4年度以降は増加傾向にありましたが、令和6年度についてはやや減少しました。



相談
実施日

日祝・年末年始：
19時～23時

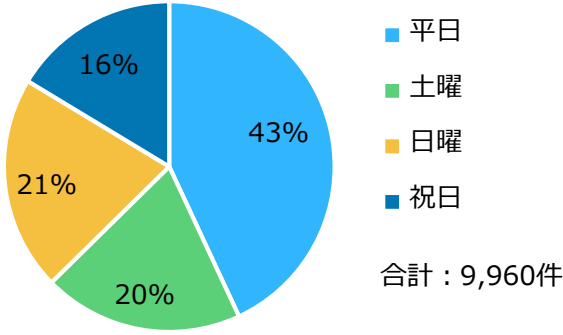
H20～相談日拡大
毎日：19時～23時

H27～時間拡大
平日：19時～23時
土日祝・年末年始：
9時～23時

H30～時間拡大
平日：19時～翌9時
土日祝・年末年始：
9時～翌9時

3 曜日別の相談比率

土日祝日の相談が5割以上を占め、ニーズが高い傾向にあります。



4 時間帯別の相談比率

19時～21時の相談が最も多く、全体の約3割を占めています。
昨年度と比較して、平成30年度から延長実施した相談時間帯（23時～9時）の利用割合と従来から実施していた時間帯の利用割合は同程度となっています。

令和6年度

①従来から実施していた時間帯			②H30から延長実施した時間帯		
相談時間帯	件数	割合	相談時間帯	件数	割合
9時～11時	520	5.2%	23時～1時	786	7.9%
11時～13時	470	4.7%	1時～3時	511	5.1%
13時～15時	508	5.1%	3時～5時	300	3.0%
15時～17時	680	6.8%	5時～7時	335	3.4%
17時～19時	895	9.0%	7時～9時	688	6.9%
19時～21時	2,662	26.7%			
21時～23時	1,605	16.2%			
小計	7,340	73.7%	小計	2,620	26.3%
①・②の合計：9,960件					

(参考) 令和5年度

①の小計	7,546	72.7%	②の小計	2,836	27.3%
①・②の合計：10,382件					

5 相談時間別の比率

1回あたりの相談時間は、
85.8%が「10分未満」です。

相談時間	件数	割合
0～5分未満	2,421	24.3%
5～10分未満	6,119	61.5%
10～15分未満	1,199	12.0%
15～20分未満	181	1.8%
20分以上	40	0.4%
合計	9,960	

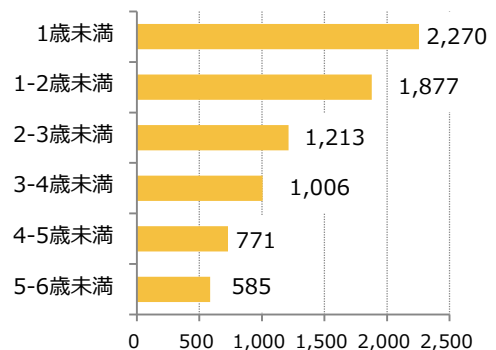
6 相談対象者の年齢構成

相談対象者の約8割は6歳未満の乳幼児です。
とりわけ、0～2歳未満の乳幼児に関する相談が多く見られました。

年齢	件数	割合
0～6歳未満	7,722	77.5%
6～12歳未満	1,622	16.3%
12～15歳未満	315	3.2%
その他	301	3.0%
合計	9,960	

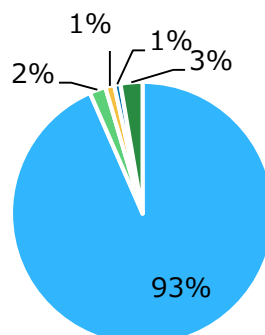


乳幼児の年齢別件数



7 項目別の相談内容

救急医療相談が殆どでしたが、くすりの相談、育児・しつけ、一般の病気の相談も寄せられています。



- 救急医療相談
- くすりの相談
- 育児・しつけ
- 一般の病気の相談
- その他

合計：9,960件

8 症状別の相談内容

発熱による相談が3,323件（25.2%）と最も多くなりました。続いて嘔気・嘔吐1,306件（9.9%）、咳1,155件（8.8%）となりました。

症状	件数	割合	症状	件数	割合
発熱	3,323	25.2%	啼泣・なきやまない	252	1.9%
嘔気・嘔吐	1,306	9.9%	便の異常（血便・便秘）	234	1.8%
咳	1,155	8.8%	目の異常	214	1.6%
頭部打撲	790	6.0%	けいれん・ふるえ	205	1.6%
発疹（じんましん）	672	5.1%	薬	193	1.5%
頭部以外の外傷	574	4.4%	喘鳴	165	1.3%
腹痛	513	3.9%	尿の異常	119	0.9%
鼻水・鼻づまり	476	3.6%	熱傷	93	0.7%
耳・鼻・喉の異常	428	3.3%	予防接種	48	0.4%
下痢	320	2.4%	耳漏	25	0.2%
異物誤飲	289	2.2%	その他	1,241	9.3%
歯・口腔の異常	269	2.0%	合計(※)	13,166	
頭痛	262	2.0%			

※重複あり

9 対応内容

すぐに医療機関をすすめた件数が最も多くなり、次いで、翌日の医療機関をすすめた件数が多くなっています。

また、中には、119番をすすめる事例も発生しています。

対応	件数	割合
119番をすすめた	253	2.5%
すぐに医療機関をすすめた	5,246	52.7%
翌日の医療機関をすすめた	3,709	37.2%
何かあれば受診することをすすめた	349	3.5%
一般的な保健指導・育児相談	314	3.2%
その他	89	0.9%
合計	9,960	

10 相談者の居住地別の利用状況

和歌山エリア（和歌山市、海南市、紀美野町）からのご利用が約半数を占めています。

一方、紀南地方での利用が比較的少なく、地域によってニーズの差があると考えられます。

